

重光葵 外交官，政治家。政府代表として降伏文書調印，A級戦犯も出所し，<日ソ国交回復><国連加盟>実現。

しげみつまもる

国民之友始・1887 = 大分県杵築で次男に生まれた。

帝国憲法発布1889 = 2歳：

帝国議会始・1890 = 3歳：父が官職を引退して以後，

古典教育を受ける一方，家運が傾く中，全ての面倒を見る母の慈愛を受けて育ち，

日清戦争始・1894 = 7歳：

白馬会・・・1896 = **9歳**：

新設の中学校から，

日露戦争終・1905 = **18歳**：

熊本の第五高等学校の独法科を経て，

東京帝国大学独法科に進み，貧困のどん底で，

大逆事件判決1911 = 24歳：卒業するとともに，外交官と領事官試験に合格して外務省に入り，

明治天皇没・1912 = 25歳：郷里で両親に挨拶して，ドイツに赴任，武者小路書記官の指導を得て外交官の基礎を修得，

第一次大戦始1914 = **27歳**：日本も対独宣戦布告をしたことから，敵国として厳しい状態に置かれ，脱出してイギリスに転勤。

しばらく滞在して影響を受けるうち，

本格政党内閣1918 = 31歳：アメリカのポートランド領事への転任後，母が重病との知らせを受けてまもなく，<パリ講和会議>の全権随員を命じられて牧野全権の一行に合流，

ベルサイユ条約・1919 = 32歳：ベルサイユ会議に出席中に，母の死去を知って衝撃受け，残務処理をして，

大暴落・・・1920 = 33歳：帰国，帰郷して遺族を励ました後，参事官に昇進，

原敬首相暗殺1921 = 34歳：

関東大震災・1923 = **36歳**：

条約局第一課長を経て，

治安維持法・1925 = 38歳：中国の<五・三 事件>を処理するため，一等書記官として北京に赴任，

金融恐慌・・・1927 = 40歳：父が死去したり，北京で流行していたチフスに感染して入院，帰郷して療養後，

共産党事件・1928 = 41歳：

命じられてドイツに赴任後，直に吉田茂次官に呼び戻され，<済南事件>を処理すべく上海に派遣され，

解決後も，対中問題処理のため総領事として留まるうち，

満州事変・・・1931 = 44歳：駐華特命全権公使となり，

五一五事件・1932 = **45歳**：上海爆弾事件で片脚を失い，帰国して別府の九州帝大温泉治療研究所で療養後，

国際連盟脱退1933 = 46歳：盛大な出迎えを受けて帰京，広田弘毅外相のもとで事務次官に就任した。

帝人疑獄事件1934 = 47歳：<海軍軍縮問題>を処理，

二二六事件・1936 = 49歳：<二・二六事件>による政変後，駐ソ大使となってモスクワに赴任，

日中戦争始・1937 = 50歳：近衛内閣の改造に伴い，駐英大使となってロンドンに転勤，

日本の膨張や三国同盟の件でイーデンらと渡りあうが，

日米開戦・・・1941 = **54歳**：水泡に帰し，辞表を提出するも認められず，

創価学会検挙1943 = 56歳：東条英機内閣の改造により外相に就任，

年金+総武装 1944 = 57歳：小磯国昭内閣でも留任するとともに大東亜相を兼任，

敗戦・・・1945 = 58歳：貴族院議員，*敗戦直後の東久迩宮稔彦内閣の外相となり，政府代表として日本降伏文書に調印した。

その後，A級戦犯として東京裁判で禁錮7年の刑に処せられたが，

朝鮮戦争始・1950 = **63歳**：仮出所。

独立回復・・・1951 = 64歳：

メーデー事件・1952 = 65歳：改進黨総裁となり，

TV放送始・1953 = 66歳：総選挙後，自由党の吉田茂との首班指名争いに敗れる。

自衛隊発足・1954 = 67歳：日本民主党の結成とともに副総裁となり，鳩山一郎内閣の外相に就任し，

国連加盟・・・1956 = 69歳：日ソ国交回復と日本の国際連合加盟を実現して，

なべ底不況・1957 = 70歳：狭心症の発作で没した。